



～いわて復興展示商談会～ 〈岩手県新技術・新工法展示商談会inHITACHI〉

10月25日(金)10:00～17:00に岩手県、当センター主催、(株)日立製作所の共催により～いわて復興展示商談会～「岩手県新技術・新工法展示商談会 in HITACHI」を(株)日立製作所 東お茶の水ビル2F大ホール(東京都千代田区)で開催しました。

(株)日立製作所は、情報通信・自動車・再生可能エネルギー・医療機器・建設機械等多くの事業部門を有する総合電機メーカーで、展示商談会は、県内企業の持つ新技術・新工法の紹介パネル及び製品を展示し、日立グループ各社等に新たな設計開発や調達先選定などの検討に活かしていただくことを目的とし開催しました。

鋳造・切削加工:5社、素材・部品:3社、表面処理:3社
樹脂・ゴム・金型:6社、装置・完成品:2社、板金・プレス:4社
接合:4社、組込みソフト・ハード:5社、その他:2社 の計34社が参加(岩手県単体の展示商談会としては最大規模)。

雨模様の天気でしたが、当日の来場者は835名を数え日立グループ各社の注目度も高かったことがうかがえました。

出展企業へのアンケートの結果*、名刺交換数は971件・有望案件については84件あり今後、新規取引の成約が期待されます。また、岩手県・(株)日立製作所と情報共有の上、フォローを図って参ります。

***アンケート結果(抜粋)**
(1) 今回の展示商談会に出展での満足度(5点満点)
(2) 大手メーカー向けの展示商談会は効果的か(5点満点)

業種	(1)	(2)
鋳造/切削加工	4.4	4.2
素材/部品	5	4
表面処理	3.3	3.3
樹脂/ゴム/金型	3.8	4
装置/完成品	5	4
板金/プレス	3	3.3
接合	4.5	3.8
組込みソフト/ハード	4	3.8
その他	5	4.5
平均	4.1	3.9



10月22日(火) ホテルルイズを会場に 第1回「新素材・加工産業化研究会」 が開催されました。

これまで、当センターでは国・県の事業・制度を活用し、高機能性・高生体適合性のコバルト合金の研究開発と製品化に取り組み、地域の新たな産業の芽として、材料安定供給体制の確立や材料の規格化、応用製品の事業化等の実績を上げて参りました。本研究会は、この「いわて発」高付加価値コバルト合金のブランド化・クラスター形成への取組みを継続するため、岩手県が新たに厚生労働省より採択を受けた、「新素材・加工産業の振興を通じた雇用創造プロジェクト」の地域マネジメント強化メニューの柱として開催したものです。

高付加価値コバルト合金の創製者である東北大学の千葉晶彦教授の講演など、新素材・加工産業の裾野の広さ可能性を大いに感じ得る研究会となりました。当日は34社の企業様のご参加をいただき、全体の参加人数は、産学官合わせまして104名と非常に有意義な研究会となりました。

本研究会は年に2回程度の開催を予定しており、次回開催は来年2月21日(金)を予定しております。



新任 アドバイザー・ コーディネーター 紹介

センターに新たに勤務するアドバイザー、
コーディネーターをご紹介します。



技術経営アドバイザー
杉本 榮

40年メーカーで特殊合金の製造や販売に携わって来ましたが、縁があって9月より当プロジェクトの一員になりました。今まで培ってきた経験・技術を活かせる分野でもあり幸いに思います。よろしくお願いたします。



連携支援コーディネーター
杉山 大樹

中小企業エンジニアの立場で企業間および産学間の共同研究・製品開発に携わってきました。コーディネーター業務は初めてですが、企業の皆様方における新素材開発から事業化のお力となれるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

